




製造業、非製造業とも収益状況は大幅に悪化




8月の情報連絡員報告によると、製造業、非製造業の景気DI値は依然としてマイナス70を越えている。販売価格のDI値は前年同月比で上昇傾向にある他は、すべての調査項目で数値が悪化している。

コスト上昇分の価格転嫁が進まないことに加え、天候不順の影響で売上が減少しているとの情報が多く寄せられた。

[製造業64人、非製造業86人、計150人の集計]

	…増加、上昇、好転
	…不変
	…減少、低下、悪化

各項目のDIの動き (前年同月比)

	全 体	製 造 業	非製造業
売 上 高			
在 庫 数 量			
販 売 価 格			
取 引 条 件			
収 益 状 況			
資 金 繰 り			
設 備 操 業 度			—
雇 用 人 員			
業 界 の 景 況			

✓ 行政庁・中央会に対する主な要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	組合及び組合員の業況等
鉄鋼・金属	鍍金加工業	環境関連の規格等を見直してほしい。リサイクルの推進も現実には困難な部分がある。
	建築金物製造業	住宅減税の続行と住宅金利低減施策をお願いしたい。
繊維・同製品	洋服製造業	コストのアップを価格に転嫁できない状態での最低賃金価格のアップは「廃業しろ」というのに等しい。
商店街	赤 坂	銀行の融資が受けられなくなっている。政策を見直してほしい。
サービス業	複 写 業	大手銀行が新規の手形を割り引かない。何らかの対応措置をとってほしい。

平成20年
8月

業 界 の 声

製 造 業		
集計上の分類業種	具体的な業種	組合及び組合員の業況等
食 料 品	麺類製造業	外食産業が値下げを行っているために、麺価の値上げができない。
	製粉業	国内産小麦の民間流通入札が行われたが、高値で応札されたため、来夏の国産小麦価格の上昇は不可避。
	ソース製造業	原材料（包装材を含む）の値上げ分を価格転嫁できず苦慮している。
繊維・同製品	帽子製造業	8月は猛暑で夏物が好調。後半は冷夏で一転して秋物が好調だった。
	帆布製品製造業	主力商品のテント生地、エステル帆布、ターボリン等の値上げが実施された。値上のみが先行しており、売上は回復していない。景況は前年同月比で大きくダウンしている。
	ニット製品製造業	ニット製造業のうち、染色業が危機に直面している。染色業では染料価格が異常に高騰し、生産に支障をきたしている。又、金融機関が融資先の選別に入っており、資金繰りが悪化している。
	ネクタイ製造業	セーフティネット保証指定業種に認定された。売上は大幅に減少。
木材・木製品	建具製造業	国交省の建築着工統計調査では8月期の住宅着工数はやや増加とあるが、あくまで住宅着工件数が激減した昨年との比較であり、きびしい状況にあることは変わらない。
紙・紙加工品	紙製品製造業	原紙価格の値上げ分の転嫁が問題。これまでの価格転嫁で販売価格の上昇はあるものの、収益はさらに低下している。
	紙器製造業	原料紙、副資材が度重なる値上げ。製品価格の転嫁が難しい。
印 刷	印 刷 業	今後の売上予想は前年比マイナス6%の見通し
		組合員の廃業2社、脱退1社。業界の窮状を訴える広告記事を業界紙に掲載するなどの対応をした。
化学ゴム	塗料製造業	売上は前年並みになってきている。自動車・船舶向けは増加しているが、建築・木工関係は減少している。原料費は引き続き上昇しており、大手メーカーは9月の価格改定を打ち出した。
	ゴム製品製造業	組合員の中で格差が広がっている。輸出も不振で売上が減少。
	プラスチック製品製造業	プラスチック原材料の値上がり止まらない。製品価格への転嫁は依然進まない。
窯業・土石製品	生コンクリート製造業	東京都全体では対前年比1割減の出荷量であるが、都内23区では2割以上の減少となっている。
	土石製品製造業	碎石製造と輸送に必要な軽油の急騰に対応できず、業界全体が減収となっている。碎石価格の値上げを各社がユーザーに対して訴えているが、厳しい状況。運送事業者の撤退・廃業により輸送手段も赤信号が出ている。
鉄鋼・金属	電線製造業	8月の需要動向は、通信用電線は減少したが、電力、電気機械、自動車、建設用電線の需要が増加したため、全体では増加となった。ただし原材料価格の高騰に対応できていないため収益が悪化している。
	金属熱処理業	主要材料が軒並み値上げしており、経営を圧迫している。
	鋳物製造業	夏期休業で稼働日数が少なく、目立った動きがない。前年同月と同様景況はきびしい。
	鍍金加工業	環境関連の規制によりコスト高になるが、価格転嫁ができない。
	缶製造業	鋼材の値上がりの影響は今後とも続くと思われ、対応に苦慮している。
電気機器	配電盤製造業	一部で受注競争が激化。資金繰りは企業間にばらつきがあり。秋以降の部品の値上げが懸案事項。
一般機器	写真製版機材製造業	売上状況は不調。年末にかけて多少好転すると思われるが、昨年と比べると状況は悪化すると思われる。
輸送用機器製造業	輸送用機器製造業	休日出勤が困難になり、人員の増加で対応せざるを得ない。収支が悪化する中、人件費が増大している。
その他の製造業	スポーツ用品製造業	北京オリンピックによる市場の活性化を期待している。スポーツ人口の底辺拡大が必要である。
	ガス圧接業	建築確認の遅れから、着工件数が減少しており、稼働率が前年対比で半分近くまで落ち込んでいる。

平成20年
8月

業 界 の 声

非 製 造 業		
集計上の 分類業種	具体的な業種	組合及び組合員の業況等
卸 売 業	玩具卸売業	組合主催の玩具の見本市が都立産業貿易センターで開催され、8,000人の入場者にぎわった。NHKをはじめ多くのメディアで紹介され、宣伝効果は大であり、クリスマス商戦に結びつくことを期待している。
	理容用品卸売業	今年度、4名の組合員が倒産・廃業により脱退。組合設立時（昭和59年）、73名いた組合員が、現在は36名。理容業界の不況が原因で転・廃業するケースが多い。
	鶏卵卸売業	仕入れ価格の上昇により、収益は悪化。廃業組合員が増加している。
	電線卸売業	銅の価格はやや下落傾向。ケーブル副資材、特にコンパウンド（絶縁材）の高騰が販売価格に転嫁できるかが今後の重要課題。
	紙卸売業	景気の悪化から、広告費が削減され（カレンダー等の年末商品も含む）業界は急速に需要が減少している。
	セメント建材卸売業	組合の共同購買事業では、大きな案件があり前年同月の実績を上回った。
	木材卸売業	一部に仕入れ価格の上昇が見られる。売値への転嫁は遅れている。
	コンクリート製品卸売業	販売価格の上昇はあっても微々たるもので、諸資材の大幅値上げを吸収できるまでには至っていない。夏場の在庫を冬場の需要期に充当する構造に支障を及ぼすことが懸念される。
	ニット製品卸売業	材料価格の高騰や、天候不順による売上高の減少など非常にきびしい状況。
	青果小売業	野菜・果物とも安値安定。収益状況は対前年比で12%悪くなっている。
小 売 業	豆腐小売業	盆休みで営業日数が少なかったことに加え、天候不順で売上が減少。廃業組合員3件。
	ペット小売業	趣味産業であるペット業界は景気の影響が大きい。ペットの販売不振とともに飼料等の売上げも減少。
	中古自動車小売業	大型車が販売不振。軽自動車・小型車が売れているが、全体的な売上は減少している。
	文具小売業	メーカーの商品値上げが相次いでいるが、小売店では非常に困難。組合員の減少が懸念される。
	化粧品小売業	相変わらず後継者不足で廃業者が出ている。利益が上らない構造が後継者難の原因。
	電器製品小売業	売上状況は、中旬までエアコン、冷蔵庫、AV機器を中心に好調に推移したが中盤以降はペースダウンした。前年同月はエアコンなどの売上が非常に大きかったので、前年同月比で見ると売上は若干下回った。
	包装材料小売業	原紙の値上げと段ボールシートの先高感に不安を強めている。需要も対前年比10%以上も割り込み、きびしい経営状況に陥っている。
	衣料品小売業	冷夏の中、長雨が続いたため、夏物セールが極度の不振。前年同月に比べ売上は大きく落ち込んだ。
	自転車小売業	自転車の売上げ台数は前年並みだが、単価が上昇。タイヤの原材料不足で供給が間に合わない。
木材小売業	前年比では売上減であるが、明るい見通しも感じられる。	
商 店 街	赤 坂	新規の組合員が加入し、組合員の減少が止まっているが、町に覇気を感じない。
	目 黒	天候不順により売上が減少。
	秋 葉 原	エアコン販売が好調。オリンピック需要は期待値に届かず。
サービスマ	廃棄物処理業	廃棄物処理費が値上げされたが、軽油の値上げ分のほうが大きい。
	自動車整備業	自動車の保有台数の減少で需要と供給のバランスが崩れている。また、業績に格差が現れている。
	複 写 業	資材等の上昇に伴う販売価格への価格転嫁は50%程度達成。
	クリーニング業	クールビズの影響で、秋の上着のクリーニングが大幅に減少すると思われる。
運 送 業	貨物自動車運送業	業況はさらに悪化。組合員数は2社減少。車両台数20～40台の中規模クラスの業者が特にきびしい。また、荷主の業種により状況が異なり、鉄鋼（自動車・機械向け）関係ははまだ順調な様子。
	港湾運送業	東京港のコンテナ取扱量は、輸出入とも荷動指数が予定の二桁台に届かなかった。